

平成 27 年度工学部 FD 講演会

甲斐 敬美（環境化学プロセス工学科）

平成 27 年度の工学部 FD 講演会は 2 回開催された。1 回目の FD 講演会は、工学部建築学科棟 01 号教室にて平成 27 年 4 月 30 日(木)13 時 30 分から 15 時 30 分まで、理工学研究科、理学部との共同共催で開催された。講師はニューヨーク州立ニューヨーク・シティ大学機械工学科教授・同大学エネルギー研究所副所長川路正裕先生で「北米の大学・大学院における工学教育・研究・学科の運営について」という演題で講演をしていただいた。講演会への参加者は、141 名（工学部教員：64 名，理学部教員：8 名，他学部教員：4 名，事務・技術職員：16 名，学生：49 名）であった。川路先生の講演に関しては、平成 27 年年度理工学研究科 FD 報告書に掲載されているので、詳細はそちらを参照されたい。

2 回目の工学部 FD 講演会は、稲盛会館において、平成 27 年 9 月 30 日水曜日 14 時 30 分から 16 時 00 分まで、広島大学教育・国際室特任教授の山根八洲男先生に講演をしていただいた。講演題目は、「日本のものづくりに求められるひとづくり」で、講演会への参加者は、90 名(工学部教職員 74 名，工学部学生 12 名，他学部教職員 4 名)であった。講演では「ひとづくり」の重要性について講演していただいたが、内容は次の通りである：熟練作業の自動化は大きな流れであるが、人から人への移転伝承は現在でも必要不可欠であるにも関わらず、中堅技術者が不足していることは企業のものづくり能力の大きな低下をまねいている。対応策としては、女子の活用，留学生の活用，育成の加速化および新しい技術者の育成にある。技術者に要求される 6 つの能力として、俯瞰力，理論力，経験力，判断力，行動力および創造力を挙げられ、それぞれについての育成方法が示された。まとめとしては、理想とする技術者像（目標）の構築がスタートであることが強調された。

